

2020 年 8 月 18 日

○ 8月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の石井でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しをさせていただきます。

< 1. 号機間輸送 >

- はじめに、使用済燃料の号機間輸送についてです。
- 本年3月に今年度の号機間輸送計画としてお示ししましたとおり、6号機の使用済燃料38体を3号機に輸送する作業を7月から実施していましたが、今月8日にトラブルなく3号機の使用済燃料プールに貯蔵を完了いたしました。
- この号機間輸送につきましては、6号機および7号機の使用済燃料プールの貯蔵量がそれぞれ90%以上となっており、貯蔵量の余裕を確保するために計画的に実施しているものです。
- 使用済燃料を輸送するには、キャスクと呼ばれる専用の容器に燃料を収納します。この作業を6号機の使用済燃料プールの中で行った後、陸上輸送で3号機へ輸送いたしました。  
3号機に運んだ後は、同じように使用済燃料プールの中でキャスクから燃料を取り出し、貯蔵しております。
- 次回の号機間輸送につきましては、7号機380体の輸送を計画しておりますので、安全を最優先に慎重に作業を行ってまいります。

## < 2. 2019 年度防災訓練評価結果 >

- 次に、昨年度に実施した原子力防災訓練の評価結果についてです。
- 先月 28 日、原子力規制庁による原子力事業者防災訓練報告会が開催され、当発電所においては昨年 11 月の訓練を対象とした評価結果が示されました。評価項目は 11 項目あり、本社窓口から原子力規制庁への情報伝達という点で「B」評価、その他の項目では「A」評価となりました。各発電所によって訓練シナリオ等は異なるものの、委員の方からは「東京電力は 3 サイトとも、昨年本年と良い訓練ができています」というコメントもいただくことができました。
- このような評価対象訓練以外でも、当発電所では月に 1 回程度の総合訓練を積み重ねており、対応力の更なる向上と、訓練を通じて見つかった課題の改善を図っています。また、発電所では従来から現場での個別訓練も行っており、先月は、有事において原子炉建屋へ外部から注水を行うための訓練を実施しました。
- 車からホースを展開し、水源の淡水貯水池から原子炉建屋近傍に配備した消防車までを繋いで送水を行い、手順書通りかつ規定時間内に実行できることを確認いたしました。
- 今後は、このような個別訓練と総合訓練の連動の機会をさらに増やし、より一層実践的な訓練にしていくことで、地域みなさまにご安心いただけるように取り組んでまいります。
- 本日、私からは以上です。

以 上